



## 平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 イノテック株式会社

コード番号 9880 URL <http://www.innotech.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小野 敏彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 棚橋 祥紀

TEL 045-474-9000

四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	4,575	△13.8	61	△74.6	133	△55.2	△185	—
25年3月期第1四半期	5,309	△18.7	241	△37.3	297	△31.0	180	△28.4

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △168百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 266百万円 (△11.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△10.62	—
25年3月期第1四半期	10.31	10.17

(注) 平成26年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
26年3月期第1四半期	26,196		22,397		84.0	
25年3月期	26,527		22,683		84.0	

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 21,996百万円 25年3月期 22,288百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	7.00	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	11.9	1,100	44.5	1,200	30.6	450	△13.9	25.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	18,218,901 株	25年3月期	18,218,901 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	715,359 株	25年3月期	715,359 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	17,503,542 株	25年3月期1Q	17,503,602 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 業績予想につきましては、平成25年5月10日に公表しました内容から変更しております。詳細につきましては平成25年8月7日付の「業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ」をご参照ください。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、金融緩和や公共投資の増加等の経済対策の効果による円高の是正や株価の上昇により、景気の緩やかな持ち直しの傾向が見られる一方で、欧州の債務問題や中国経済の減速懸念等により、先行きの不透明な状況が続きました。

当社グループが参画いたします先端エレクトロニクス業界におきましては、薄型テレビやパソコンについては需要の回復が見られず、全体としては引き続き厳しい事業環境となったものの、スマートフォンやタブレット型端末等のモバイルコンピューティング関連については好調に推移し、NANDフラッシュメモリの需要が高まったことから、半導体メーカーの設備投資も増加傾向となりました。

このような状況の下、当社グループにおける当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高45億75百万円（前年同期比13.8%減）、営業利益61百万円（同74.6%減）、経常利益1億33百万円（同55.2%減）、四半期純損失1億85百万円（前年同期は四半期純利益1億80百万円）となりました。

報告セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を変更したため、前年同四半期比較にあたっては前第1四半期連結累計期間分を変更後の算定方法により組み替えて行っております。

詳細は「2. 四半期連結財務諸表 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

#### 〔半導体設計事業〕

半導体設計事業は、高付加価値製商品及びサービスの提供、仕入先・顧客など取引先との関係強化及び新規開拓を行うなど積極的な営業活動に努めてまいりました。主力商品の半導体設計用（EDA）ソフトウェアは、他社製品からの移行及び長期契約の更新が順調に推移いたしました。自社製テストシステムは、海外向けは引き続き堅調に推移しましたが、国内半導体メーカーにおきましては、需要回復の兆しは見えるものの、売上高への貢献には至りませんでした。一方、三栄ハイテックス株式会社のLSI設計受託ビジネスは堅調に推移いたしました。

その結果、当事業の売上高は27億18百万円（前年同期比8.2%増）、セグメント利益は3億36百万円（同17.9%増）となりました。

#### 〔電子部品事業〕

電子部品事業は、デジタル家電やOA・FA市場の既存顧客を中心に当社のエンジニアリング力を活かし、高付加価値製商品及びサービスの提供、新規アプリケーションの開拓に注力してまいりました。ハードディスク部門は、OA・FA市場の低迷により、前年同期比で売上高が大きく落込みました。デバイス部門は、高画質デジタル機器対応チップの需要増に伴い堅調に推移したものの、レーザーダイオードドライバは価格競争の激化により売上高が減少いたしました。アイティアアクセス株式会社は、受託開発が開発効率向上により好調に推移したものの、組み込みソフトウェアのライセンス販売の不調により前年同期実績を下回りました。

その結果、当事業の売上高は18億57百万円（同33.6%減）、セグメント損失は1億10百万円（前年同期はセグメント利益79百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、261億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億31百万円減少しております。これは主に、有価証券や商品及び製品が増加したものの現金及び預金や受取手形及び売掛金が減少したことなどによるものであります。

一方、負債は37億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ45百万円減少しております。これは主に、賞与引当金が増加したものの買掛金や未払法人税等が減少したことなどによるものであります。

純資産は223億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億85百万円減少しております。これは主に、四半期純損失を計上したためであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と同じく84.0%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、平成25年5月10日に公表しました平成26年3月期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、平成25年8月7日付で別途公表しております「業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,902,539	4,089,087
受取手形及び売掛金	6,346,203	5,968,013
有価証券	—	499,603
商品及び製品	1,163,110	1,510,577
その他	1,962,753	1,995,044
貸倒引当金	△1,302	△8,751
流動資産合計	14,373,305	14,053,574
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,698,072	7,700,463
減価償却累計額	△3,596,369	△3,628,919
建物及び構築物（純額）	4,101,703	4,071,544
土地	5,668,131	5,668,131
その他	799,480	803,708
減価償却累計額	△545,627	△555,978
その他（純額）	253,852	247,729
有形固定資産合計	10,023,687	9,987,405
無形固定資産		
のれん	134,620	123,060
その他	140,668	137,558
無形固定資産合計	275,289	260,619
投資その他の資産		
投資有価証券	1,106,845	1,045,160
その他	755,974	907,259
貸倒引当金	△7,697	△57,700
投資その他の資産合計	1,855,122	1,894,719
固定資産合計	12,154,098	12,142,744
資産合計	26,527,404	26,196,318

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,265,754	1,126,416
未払法人税等	167,401	60,739
賞与引当金	30,597	33,534
役員賞与引当金	—	3,140
その他	1,911,176	2,106,980
流動負債合計	3,374,930	3,330,810
固定負債		
退職給付引当金	234,936	229,194
役員退職慰労引当金	58,770	61,636
その他	175,578	176,855
固定負債合計	469,284	467,686
負債合計	3,844,215	3,798,496
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,517,159	10,517,159
資本剰余金	7,320,858	7,320,858
利益剰余金	4,672,896	4,364,425
自己株式	△283,010	△283,010
株主資本合計	22,227,903	21,919,432
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53,372	66,489
繰延ヘッジ損益	△5,497	△6,879
為替換算調整勘定	12,947	17,933
その他の包括利益累計額合計	60,822	77,543
新株予約権	183,089	188,514
少数株主持分	211,373	212,329
純資産合計	22,683,189	22,397,821
負債純資産合計	26,527,404	26,196,318

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	5,309,497	4,575,648
売上原価	3,880,494	3,322,128
売上総利益	1,429,003	1,253,520
販売費及び一般管理費	1,187,604	1,192,202
営業利益	241,398	61,317
営業外収益		
不動産賃貸料	109,453	111,617
その他	35,165	50,369
営業外収益合計	144,618	161,987
営業外費用		
不動産賃貸費用	81,792	82,683
その他	6,230	7,047
営業外費用合計	88,023	89,731
経常利益	297,993	133,573
特別損失		
投資有価証券評価損	—	216,264
特別損失合計	—	216,264
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	297,993	△82,690
法人税等	112,623	102,298
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	185,369	△184,989
少数株主利益	4,926	956
四半期純利益又は四半期純損失(△)	180,443	△185,945

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	185,369	△184,989
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△16,687	13,116
繰延ヘッジ損益	21,240	△1,381
為替換算調整勘定	76,148	4,986
その他の包括利益合計	80,701	16,721
四半期包括利益	266,071	△168,267
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	261,145	△169,224
少数株主に係る四半期包括利益	4,926	956



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	半導体設計事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,512,559	2,796,937	5,309,497	—	5,309,497
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,512,559	2,796,937	5,309,497	—	5,309,497
セグメント利益	285,694	79,339	365,033	△123,635	241,398

(注) 1. セグメント利益の調整額△123,635千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△123,688千円及び棚卸資産の調整額53千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	半導体設計事業	電子部品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,718,491	1,857,156	4,575,648	—	4,575,648
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,718,491	1,857,156	4,575,648	—	4,575,648
セグメント利益又は損 失(△)	336,838	△110,139	226,698	△165,380	61,317

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△165,380千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△166,496千円及び棚卸資産の調整額1,116千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、各報告セグメントの業況をより適切に把握するため、販売費及び一般管理費の配賦方法の見直しを行い、従来、各報告セグメントに配賦していた管理費用の一部を各報告セグメントに配賦せず調整額に含めることとしております。

なお、前第1四半期連結累計期間に係る報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、変更後の算定方法に基づき作成したものを開示しております。